

包摂の新しい学び創造委員会（所在地：愛媛県新居浜市）

事業名

誰もが学ぶことができる生涯学習プログラム開発事業

主な連携先

新居浜市教育委員会、生涯学習センター

主な対象

すべて

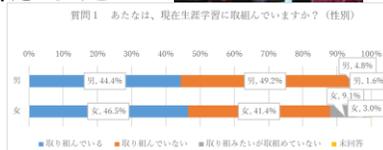
事業の趣旨・目的

- ・SDGsの理念「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、排除される人がいないシステム、多様なアクターが緩やかにつながるネットワークの構築
- ・誰もが希望するスタイルで学ぶことができる、障害の有無を超えたユニバーサルデザインの生涯学習社会の実現

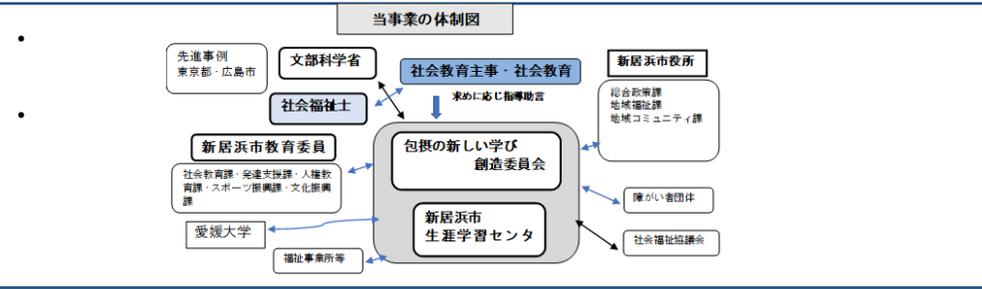
学習プログラムの内容

- ・学習意識調査「だれでも、いつでも、学べる社会へ」により、障害者一人ひとりにアンケート調査を実施し、データベース化を図る
- ・調査を踏まえ関係機関と連携して、「モデルプログラム」（日常生活の充実、芸術・文化、多様な学習ニーズ、新たなチャレンジ、自立支援等）の講義を開催
- ・モデルプログラムの実証結果を踏まえ、次年度「新居浜生涯学習大学」の講座として、障害者が学ぶことができる新しい講座を開設し、障害者の学習機会を創出

- ・地域と人をつなげるプログラム（一人では行くことができなかった街の姿に接する）では、しまなみ海道を訪ね、車中では交流が深まった
- ・学習意識調査では、224名から回答があり、生涯学習への取組状況及び学習ニーズ等の把握に努めた



事業実施体制



今年度の取組状況

- ・事業開始にあたり、関係者と事前ミーティングを重ねて、学習意識調査のタイトルを「学びの招待状」から「いつでも、だれでも、学べる社会へ」に変更して実施した。アンケート用紙1,000部を障害者団体、障害者福祉機関、社会福祉協議会等へ配布し、224名から回答を得た
- ・当初6テーマを設定し、障害者に適した学習手法を開発することを想定していたが、コロナ禍の影響や関係者との事前ミーティングの意見を踏まえて、既に各団体が実施してる各種事業へのヒアリングを実施した
- ・障害者の体験に学ぶため、「私の生涯学習の歩み」の作成に取り組んだ
- ・「国立市公民館」と「あおば特別支援学校」への訪問研修を実施
- ・車いす対応のバスを活用して、しまなみ海道（大山祇神社・村上海賊ミュージアム）を車いすのまま乗車できるバスを活用して、車中での障害者との交流を通じて相互理解が深めた

その他研究の詳細など

- ・アンケート調査については、HPへの掲載を予定